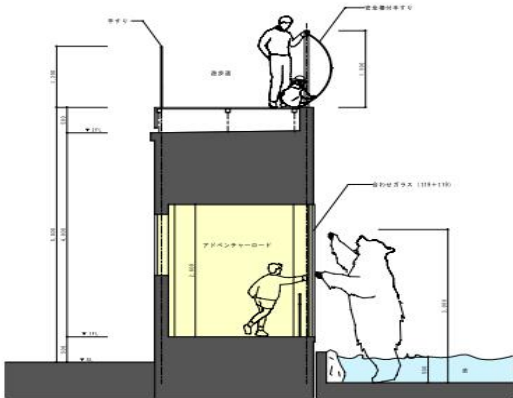
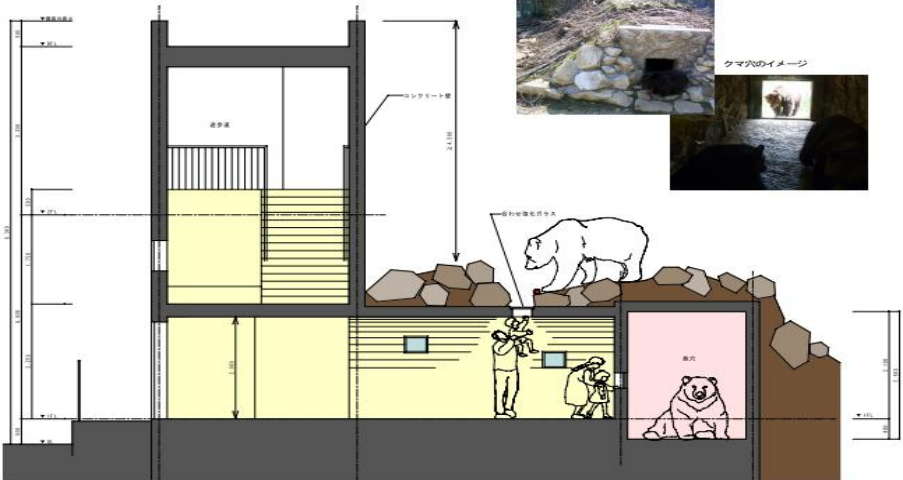


「阿仁熊牧場」施設整備 概要

建設位置	・現在の熊牧場正面右側に隣接して建設 
運動場整備形式	・現況地形を活用し、その周囲は地滑り対策工事の不要な「二重金属柵」で囲む。なお、金属柵にはクマの逃走防止と外部からの侵入を防ぐため、1秒間に1回程度の割合で数千ボルトの微電流を流す「電気柵」とし、内柵上部にはポリカーボネート板を設置する。また、クマの穴掘り習性にも対応できるコンクリート基礎(土間張り)とする。 ※1 クマは、電気柵に触れて一度ショックを受けると柵に近づかなくなる習性がある。 ※2 電気柵の使用電気量は、クマの接触時に消費される仕組みであるため、ソーラーパネルでの対応が可能。
クマ舎整備形式 (管理棟)	・鉄筋コンクリート一部2階建てとし、1階部分は管理スペースの他、クマを収容する獣室とし、2階部分は入場者の休憩、学習スペースとする。
観察施設整備形式	・クマの観察用としてクマ舎(管理棟)の屋上部分に遊歩道及び展望デッキを設置して高い視点からの観察を可能とする一方、1階には「ガラス越し」での観察や「クマ穴(人工的設置)」の観察スペースを設け、よりクマの目線に近い、低い視点からの観察も可能とする。  屋上遊歩道から熊を観るイメージ  観察用遊歩道断面図  ガラス越しにクマと触れ合うイメージ  観察用遊歩道トンネル部分断面図  クマ穴のイメージ
施設の耐久性	・金属柵は、冬期の積雪やクマの体当たり等にも耐えられる強度、形状とする。
施設の維持管理	・冬期間は、クマが冬眠するため、電気柵への通電は不要。(通電設備は格納保管) ・運動場の排泄物は、運動場内に設置する管理用道路を使って、定期的に回収する。
工事の概要	① 管理棟(獣舎)：839.06㎡ (うち 1階床面積 637.70㎡ ・ 2階床面積 179.16㎡) ③ 契約額：318,150 千円 ④ 工期：平成25年6月29日 ～ 平成25年11月29日